校内研修資料

「学級力向上プロジェクト」で、学び合いのできるクラスを作ろう

◎ねらい ： 鹿中教員全員が「学級力向上プロジェクト」を自分のものにする。

## １ 日時

・６月○日（○）１６：００～１６：３０

## ２ 場所

・図書室（来室順にカードを渡し、番号の席に座る。４人×６グループ）

## ３ 内容

（１）アイスブレイク ４＋４ 分 テーマ：**「どんな職員室にしたい？」**

① グループでホワイトボードに書き込みながら、ブレインストーミングする。（にぎやかに。）

② ２個に絞り、発表する。（説明を加えて、ぜひアピールしてください。）

③ 願いを共有して、みんなでアクション！（この流れは「学級力向上プロジェクト」と同じです。）

（２）「学級力向上プロジェクト」とは（研究主任）４ 分

（３）実践例１（１年担任）６ 分 １回目を実践した流れ・感想。今後の取組に向けての思い。

（４）実践例２（２年担任）６ 分 以前行った研究授業の実践報告・気付いたこと。

（５）バズ・セッション ４＋４＋２ 分 テーマ：**「こんなことをやってみたい、ここがよくわからない」**

① グループでホワイトボードに書き込みながら、思ったことを言い合う。

② 「やってみたい」「わからない」を１つずつ発表する。

③ 質問に対し、答えられる人が答える。

（６）ふり返り ３ 分

（７）校長先生の話 ５分

目標をやりとげる力

友だちを支える力

話をつなげる力

きまりを守る力

安心を生む力

 **「学級力向上プロジェクト」って何だろう？**（理論編）

## １ はじめに

・学級力は、教科学力やＰＩＳＡ型読解力と高い相関がある。（ベネッセ 2006 より）

・学級力は、目標を達成しようとする「やり抜く力」と、対話と協力で「繋がる心」から成り立つ。

→ 学び合いが成立する。安心して集中できる。 → 学力向上へ

## ２ 「学級力」とは

３ 「学級力向上プロジェクト」とは

学び合う仲間としての学級をよりよくするために、子どもたちが常に支え合って目標にチャレンジし、友達との豊かな対話を創造して、規律を守り安心できる環境のもとで協調的な関係を創り出そうとする力

【中学校における「学級力」６領域】

① 達成力（目標、改善、役割、団結） ④ 協調力（支え合い、修復、感謝、協力）

② 自律力（主体性、時間、運営、けじめ） ⑤ 安心力（認め合い、尊重、仲間、平等）

③ 対話力（聞く姿勢、繫がり、積極性、合意力） ⑥ 規律力（学習、生活、整理、校外）

４ 学級力向上プロジェクトの進め方

子どもたちが学級づくりの主人公となって、目標達成力・対話創造力・協調維持力・安心実現 力・規律遵守力からなる学級力を高めるために、学級力アンケートで自分たちの学級の様子をセルフ・アセスメント（自己診断・自己評価）することを通して、毎日の学習や遊びの中で意図的

・計画的に取り組む実践的な仲間作りの活動である。

▲従来のやり方

学級ルールを教師が設定し、それに基づいて叱ったり褒めたりする指導を臨機応変に繰り返す。

→　これでは、今日的な課題を解決するために十分ではなくなってきている。

５ 資料

（１）学級力として高めたい力の整理

・「こんなクラスにしたい」という子どもたちの願い（イメージマップ・ウェビング）

（２）学級力アンケートⅠ

（３）スマイルタイム（学級力を診断し、アイディアを出し合う子ども会議）

① レーダーチャートから、クラスの状況（成果と課題）を自己診断する。

② 自己診断結果を出し合い、学級力の高い項目（成果）を褒め合う。お祝いする。

③ 学級力の低い項目を課題としてとらえ、原因を探る。

④ 学級力を高める取組のアイディアを出し合い、取組目標を決める。

（４）スマイル・アクション・プランの実践

（５）学級力アンケートⅡ

～ Ｒ－ＰＤＣＡサイクルへ

◎スマイル・ミーティング（教師同士がレーダーチャートを持ち寄ってアドバイスし合う会議）

・「学級力向上プロジェクト」田中博之（金子書房）

・ 同 付属ＤＶＤデータ

・指導案の型データ（2019 － 教務部 － 校内研修 － 授業づくり研究部）

「学級力向上プロジェクト」で、学び合いのできるクラスを作ろう

# ふ り 返 り 用 紙

名前（ ）

◎ ねらい ： 鹿中教員全員が「学級力向上プロジェクト」を自分のものにする。

◎ ふり返り（こんな力が付いた。こんなことに気づいた。こんなことをしてみたくなった。など）

※ありがとうございました。にぎやかに学び合えましたか。本日中に研究主任までご提出ください。